

第10回交流会 分科会まとめ

①コーディネーター名：牛尾陽子

②参加者数：10名（山形8名、福島1名、宮城1名 学生4名、会社員6名）

③テーマ：食など、地域のお宝発見 活性化につなげるには！

④ディスカッション内容：

- ・簡単な自己紹介の後、自分が生まれ育った地域のお宝のリストアップ
米沢のお宝＝米沢牛、うこぎ、歴史（上杉博物館、町並み）
酒田のお宝＝北前船と京文化、山居倉庫、鳥海山、ジオパーク、
どんがら汁、岩ガキ、お酒
最上のお宝＝新庄まつり、玉こんにゃく、納豆汁、カド焼
福島のお宝＝相馬野馬追、凍天（しみてん）、タコ・ほっき・カツオ
- ・山形県立米沢商業高等学校の生徒さんによる「うこぎ」を使った活動の紹介
「地域を幸せにする」ことを目標に、地域PR活動を行う。
米沢のお宝の一つ「うこぎ」を使ったお菓子作り＝うこぎチョコブッセ 支倉常長遣欧使節団400周年を記念。
- ・福島県相馬市出身で大震災後仙台の大学に通う学生さんによる相馬野馬追の紹介
千年を超す伝統を今に伝える。多くの決めごとがあり、市民の生活に深く根ざしている。男性だけでなく限られた範囲であるが女性も参加している。
- ・どうやって地域のお宝を内外に情報発信するか を話し合う。
新庄まつりでは、外国人にも山車（だし）を引いてもらうようにしてお祭りに参加してもらっている。
伝統を大切にすることが、それだけでは外への情報発信に限界があり、内向きになりがち。
自分ができることで参加するのがよい。
自分の地域のお宝を大切にすることでなく、東北の他の地域のお宝をもっと知るようになる。→連携ができないか？